

【外国語学部】 A O入試

《求める学生》

- (1) 高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた人
- (2) 世界的規模の諸問題を解決するために、グローバル社会で活躍することを目指す人
- (3) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となり、人類と世界に貢献する意欲をもつ人

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和元年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和元年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) TOEFL-iBT、IELTS のスコア（出願時において有効期限内のスコア）又は英検の合格証明書（若しくは英検 CSE スコア証明書）（高等学校在学期間に相当する期間内の合格に限る）を提出できる者
- (2) 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」の（3）に該当する書類）を提出できる者
- (3) 外国語学部が定める令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。なお、(3)及び(4)の書類については、高等学校在学期間に相当する期間内に該当するものに限りです。

(1) 次の①～④の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（出願資格（3）に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② TOEFL の“Examinee Score Report”（若しくは“Test Taker Score Report”）のコピー、IELTS の Academic Module の“Test Report Form”のコピー又は英検の合格証明書（若しくは英検 CSE スコア証明書 [CSE スコア（CSE2.0）を表示したもの]）のコピー
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP の成績は利用できません。IELTS の General Training Module の成績は利用できません。）
- ③ 志望理由書（大阪大学所定様式）
- ④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 出願資格の（3）に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、令和2年1月22日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

(3) 次の①～⑨のいずれかの項目に該当する書類を1つ以上全員提出してください。

また、「活動実績報告書」（大阪大学所定様式）を併せて提出してください。

- ① 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、IELTS、英検、GTEC、TestDaF、DALF、HSK、T P K I 等）のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）
- ② 国際的又は全国的規模の外国語によるスピーチコンテスト等に出場し、入賞したことを証明する書類（大阪大学所定様式）
- ③ 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が3か月以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ④ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑤ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において SSH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
- ⑥ スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類（アソシエイト校は対象とならない）（大阪大学所定様式）
- ⑦ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑧ 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑨ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（大阪大学所定様式）

(4) 次の①～②に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意）

- ① 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類（大阪大学所定様式）とインターンシップの経験で得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
- ② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が3か月未満）の経験があればその事実を証明する書類（大阪大学所定様式）

(5) 大学入試センター試験成績請求票（出願期間終了後に提出）

提出期限 令和元年12月24日（火）17時

※詳細は39ページ参照

4. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

| 教科 | 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 | |
|------|-----------------------------------|-----|
| 国語 | 国語 | |
| 地理歴史 | 世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 | から1 |
| 公民 | | |
| 理科 | 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 | |
| 数学 | (数学I・数学A)と(数学II・数学B)の2 | |
| 外国語 | 英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 | |

【注意事項】

*1：第1解答科目の成績を利用します。

*2：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。

①「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合……選択した基礎を付した2科目の成績を利用。

②「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合……基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。

③「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合……合格者判定の対象とはなりません。

(「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。)

*3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を180点満点、リスニングを20点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障害等によりリスニングを免除された者及び「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記の成績を圧縮せずにそのまま用います。

5. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行います。専攻毎に募集人員の約2倍までの者を第1次選考合格者とします。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び口頭試問を実施します。なお、小論文(120分)は、文章読解論述型のほか、必要に応じてテーマ型など他の形式でも出題します。口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入試センター試験の成績、提出書類、小論文の成績、口頭試問の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

| 大学入試センター試験 | | | | | | | 提出書類 | 小論文 | 口頭試問 | 総合計 |
|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-------|
| 国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 合計 | | | | |
| 200 | 100 | 100 | 200 | 200 | 200 | 800 | 300 | 400 | 300 | 1,800 |

※但し、大学入試センター試験の得点の合計が満点中80%以上、かつ外国語の得点が85%以上必要です。併せて、提出書類、小論文、口頭試問の得点の合計が満点中60%以上必要です。

6. 第2次選考試験時間割

実施日：令和元年12月15日（日）

| 試験内容 | 実施時間 |
|------|-------------|
| 小論文 | 10:00～12:00 |
| 口頭試問 | 13:00～18:00 |

7. 試験会場（予定）

試験会場は以下のとおり予定しております。

| 地区 | 試験実施場所 | 所在地 |
|---------|------------------|---------------|
| 箕面キャンパス | 大阪大学 外国語学部研究・講義棟 | 箕面市粟生間谷東8-1-1 |

8. 日本語専攻志願者注意事項

①日本語専攻志願者は、入学後に学びたい専攻言語（下記の24専攻言語）の希望を、「専攻言語希望調査書」(※)に1から24までの希望順位を記入して、試験当日に必ず提出してください。ただし、外国語を「英語」以外の科目で受験する場合は、専攻言語「英語」の希望順位を最下位としてください。

なお、この「専攻言語希望調査書」は、合格者決定の際の資料とするものではありません。

(※)「専攻言語希望調査書」は、第1次選考合格者発表日以降に外国語学部ホームページ(<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>)に掲載予定です。

②専攻言語の決定は、大学入試センター試験の成績を利用して行います。

＜専攻言語＞中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語